

サイバーセキュリティクラウドが提供する Managed Rules にて
Inline Regex に対応し、Managed Rules 全般のルールを最適化

株式会社サイバーセキュリティクラウド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO:小池敏弘、以下「サイバーセキュリティクラウド」)は、アマゾン ウェブ サービス(AWS)が提供する AWS WAF V2 向けの下記 2 つの Managed Rules(以下「マネージドルール」)に対して、Inline Regex 対応(インライン正規表現への置き換え)のリリースを行いました。

- ・ Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF – High Security OWASP Set –
- ・ Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF – API Gateway/Serverless –

これまで WCU(WAF Capacity Unit)の制約内でルールセットを構築し、アップデートを行っていましたが、Inline Regex 対応により、制約事項の 1 つである WCU に対してアプローチし、マネージドルール全般のルール最適化を実施することが可能となりました。

■Inline Regex 対応(インライン正規表現への置き換え)とは？

AWS WAF で正規表現(regex)のサポートを拡張し、正規表現パターンをルールステートメント内にてインラインで表現できるようになりました。

これまでは WAF ルールロジックで単一の正規表現パターンのみを使用する場合でも、ルールステートメントで正規表現パターンのコレクションを提供する正規表現パターンセットを作成する必要がありました。インライン正規表現を使用することで、単一の正規表現パターンを WAF ルールステートメント内に直接含めることができるようになり、ウェブ ACL 内での WAF ルールの表現方法が簡素化されます。

さらに、インライン正規表現パターンでは、ウェブ ACL キャパシティユニット(WCU)の消費量が少なくなる可能性があります。これは各パターンが 3 WCU を消費するのに対し、正規表現パターンセットでは 25 WCU が消費されるためです。

■Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF とは？

『Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF』は、サイバーセキュリティクラウドが独自に作成する厳選された AWS WAF 用のルールセットです。

マネージドルールは OWASP Top 10 Web アプリケーションの脅威リストに含まれる脆弱性を軽減させる包括的なルールセットで、Web アプリケーションや APIなどを簡易的にサイバー攻撃の脅威から保護することができます。さらに世界有数のサイバー脅威インテリジェンス情報を持つサイバーセキュリティクラウドのサイバー脅威情報監視チーム“Cyhorus(サイホルス)”が最新の脅威にもいち早く対応し、セキュアな環境を素早く構築することが可能です。



また、マネージドルールはグローバルなオンラインプラットフォーム、AWS Marketplace 経由のみで販売が完結できるため、各国で人材への投資をすることなく世界中のユーザに届けることが可能です。なお、2021年12月時点では累計70以上の国と地域とに展開しており、グローバル全体でのユーザ数は2,372以上となっております。

【株式会社サイバーセキュリティクラウドについて】

会社名:株式会社サイバーセキュリティクラウド

所在地:〒150-0011 東京都渋谷区東 3-9-19 VORT 恵比寿 maxim3 階

代表者:代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘

設立 :2010年8月

URL :<https://www.cscloud.co.jp/>

※アマゾン ウェブ サービス、および AWS は米国および/またはその他の諸国における Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。